総 務 文 教 委 員 会 記 録

令 和 7年 3月 31日 （ 月 ）
10時 02分 ～ 10時 52分
全　員　協　議　会　室

【委　員】 芦谷委員長、沖田副委員長、村武委員、岡本委員、永見委員、西田委員
【議長・委員外議員】
【事務局】松井書記

【議　題】
1　【取組課題】地域交通について（委員間で協議）

2　その他

【別紙会議録のとおり】

【会議録】

〔　10 時 02 分　開議　〕

〇芦谷委員長

ただいまから総務文教委員会を開会する。出席委員は6名で定足数に達している。それではレジュメに沿って進める。

1　【取組課題】地域交通について（委員間で協議）

〇芦谷委員長

今日のところは、地域交通について提言案を示しながら、最後の詰めをする気持ちで、皆さんからの意見をもらおうと思っているので、よろしくお願いする。

それでは、タブレットに配信した案について、副委員長から説明をしてもらった後に、委員からそれぞれ意見及び補足をしていただき、最終的にまとめようと思うので、よろしくお願いする。

〇沖田副委員長

以前、提言の素案を皆さんにお示ししたものをもとに、皆さんの意見を踏まえていくつか修正をした。

まず1番の公共交通と地域交通について、ここが柱になる。アンダーラインを引いてある「限られたバス、タクシーの台数を効率的に動かす、地域の利用に応じた運行計画の再構築を交通会議で検討し、浜田市にとって最適な地域交通網を確立されたい。」の部分が変更したところである。当たり前のことだが、最適とは抽象的で何かということで、2番以降に担当部署について赤文字のところを付け加え修正した。前回のものは、現在の組織体制では心もとないので係から課に格上げしてほしいとの書き方だったが、赤文字で書いてある理由により、係から格上げしたらいかがかということを言っている。敬老乗車券のところは、「必要に応じた」を追記した。

4番が大きく変わる。前回は、あいのりタクシーという一言で、よく分からない書き方だったと思う。現在、浜田の予約型乗合タクシーは区域外運行ができてない状態であり、そのため利用が伸びない使いにくいものになっている側面が見受けられるため、「2人以上の予約があることが課題となっている。両事業の利点を活かし効率的でニーズに応じた制度の構築を図られたい。」と赤字部分を更新している。

香取市の区域運行を参考に、予約型あいのりタクシーを区域外運行として、使いやすいものにしたらどうだろうかと盛り込んでいる。

あいのりタクシーの扱いをどうするかが①のところで追記した。予約型乗合タクシーだけで、あいのりタクシーは不要というわけではない。あと、あいのりタクシーの分かりにくかった点について、三つに分けて提言している。

あとＭａａＳの導入についてもう少し言葉が足らなかった部分があり、赤文字で追記している。

自治会間輸送ライドシェアについては、そのままである。

以上のところで、皆さんの意見を聞きながら、提言内容について協議できたらと思う。

〇芦谷委員長

副委員長に、今までの意見を踏まえ、まとめていただいた。

各委員から、それぞれの思いを含め、特に気になること、あるいは追加修正したいことがあれば、どなたからでもいいのでお願いしたい。

〇岡本委員

副委員長が指摘されたところを見ていると、おおむねこれまで話し合ったことが挙げられてある。課題について我々が提言したから必ず実現するものではなく、現在バス事業者がいる地区であっても廃止だという風に、日々変わっていく現状の中で、結局それらを踏まえた形で執行部も考えてほしいという内容が書かれている。また、予算措置についても、基金終了後の財源も検討されたいということは、冒頭からいろいろなところで話が出ている。このことを踏まえて、これまで我々がやってきたものに準じた形での意見書になっていると思う。

〇芦谷委員長

ほかにはないか。

〇沖田副委員長

1点、委員会で見聞きしたものをもとに作成したが、このようなことを提言しようと思っているが、これでいいかについて率直な意見を聞きたいと担当課を訪ねた。

いい悪いという話ではなく、石見交通との兼ね合いについて、改めて掘り下げて聞いてみた。現在、益田市では美都線とかの廃線のことがある。バスは赤字路線となっており確かに一見無駄に見えるが、不特定多数の人が予約なく乗れるものとするとなると、あのようなスタイルになる。正直、非効率的だから引いてくれと言った後にやれなくなるという自治体もあるらしい。浜田市としては、なるべく地域路線を生かしてもらえるところは動かしてもらいたいという方針があるようだ。特に、浜田市内は、江津益田線がなくなると大変である。特に、江津浜田間の利用は、浜田市内でも多い路線であるので、こちらを残しあちらをやめるという都合のいいことも、正直、なかなか言いにくい部分がある。

浜田市としては、利用促進というのも一つの考えであり、委員会として、石見交通は要らない、便利なデマンドを走らせたらいいという書き方にしているが、担当課は石見交通の利用促進というものについてもう少し配慮してもらえるとありがたいという本音もあった。石見交通の顔色だけ伺って、何もせず手をこまねくというのもどうかと思う。個人的には、例えば市内はバスの小型化をお願いし旧那賀郡のほうはこちらに任せてほしいということについて、時間をかけながら協議してはという書き方がいいと思う。このような視点で見ると、少々不足部分があるかと思う。

〇芦谷委員長

ほかに質疑はあるか。

○村武委員

今の副委員長の発言を聞いて、本当に石見交通との関係性について、しっかりと考えていかないといけない問題だと思った。

例えば、そのことを入れ込むことになったときに、それは1番の中に付け足すということか。

○沖田副委員長

1番のところが総論だと思っている。そこにも当然入れ込み、例えば担当課で、既存の交通路線との協議を重ねてほしいと随所で入れ込む必要がある。特に、予約型乗合タクシーの部分は、旧那賀郡の脆弱な交通網をどうするかの話だと思う。そこにも当然何らかの言葉は入れ込むべきかと思う。

もう一つ、敬老乗車券のところは、両論併記になっている。

増額したいが、ほかの交通もあったら事業を見直すこともあるとあり、どちらなのかと感じる。ここを①、②に分けたほうがいいと思う。

○岡本委員

また論議するのか。

○沖田副委員長

一応、前回の委員会の話の流れで皆さんから伺った意見を修正するとこんな感じになる。

○岡本委員

修正してはどうかという位置付けで、おおむねまとめようということだったと私は判断したので、これをまた協議することはすっきりしない。

○沖田副委員長

まとめ直す。

○芦谷委員長

ほかに質疑はあるか。

○村武委員

これをもとに、皆さんの意見を聞きブラッシュアップする。副委員長もまとめながら少しこのように思うということが出てきたのだと思うので、私たち委員も、いくつかもう少しこうしたらいいというところがあると思うので、最終的なところにどんどん詰めていけばいいのではないか。今日が最終ではないと思う。

○岡本委員

おおむね今日が最終という認識でいた。

○芦谷委員長

まとめるとすれば、もう意見及び思いは出尽くしているので、できれば、今日のところでまとめ切りたいとは思っている。

ほかに質疑はあるか。

○西田委員

それぞれ今まで出された意見である「あいのりタクシー」や「自治会輸送」とか

についてまとめていると思う。ただ、ニュートラルに考えたときに、地域公共交通について、またＪＲ、石見交通、あとタクシー会社数社が担ってきて、徐々に運転士不足及び便数が減る中、自治会や地域でいろいろ関わり移動手段を考えて、行政がそこに後押しをしてきて、今がある。

今後さらに人口が減り中山間地の移動手段も変化していく中で、一定のやり方で長く当該事業を行っていくのは、なかなか厳しいものがあると思う。

常に状況変化に応じたやり方を行う必要があり、現在あるタクシー会社やバス会社とかと、もう少し地域の実情に合わせた密な連携を図る必要が必ず出てくるという気持ちを持ち、行政としてももっと密な連携及び太いパイプを保ちながらやっていかなければならないと思う。

全国自治体の中には、自治会輸送、ライドシェア、チョイソコ、タクシー、バスの利用がある。網走市へ自分たちが訪問したときは医療ＭａａＳの視察を行ったが、先日網走市の議員が来られた際に、「どこでもお出かけバス」について話があった。宮城県や大分県などは、バス会社を活用し予約型バス移動といった取組を行っていると聞き、自治体の中で、環境の変化に応じ常に現存している公共交通機関を上手に活用するやり方に対応していかなくてはいけないと感じた。民間会社との連携は常に必要だということを追記したらよいと思う。

〇永見委員

予約型乗合タクシー事業については、地域によって、それぞれ異なっているという点で、大変難しいところではないかと思う。

特に、旧浜田市においては、山間部があって市内があってという形で、石見交通も重複する部分をいかにクリアするかというところが多分にあると思う。書き方については、いろいろと十分気を遣って調整していただいたと理解する。

旧浜田市のあいのりタクシーについては、利用状況の情報を把握していないので何とも言えないところであるが、石見交通が廃止になり予約型の乗合タクシーではなかなか利用も難しい地域も多分にある。そこも含め配慮した提言内容にすべく、多少踏み込んでいけばどうかと思う。

〇芦谷委員長

委員長案ということで、前に示していた部分について、以前も議論があった浜田市版ライドシェアについて、詰まってないが、沖田副委員長が作ったライドシェアの部分に、委員会の思いとして、通勤の自家用自動車の利用によって、利用者が安全安心の見守りや高齢者の支援を行うといった福祉的な要素も加味した文言を追記してはと思う。

それ以外の部分については、現在の内容でいいと思うので、皆さんの賛同をもらえたらと思う。石見交通及びタクシー会社について出された意見として、益田市の場合は石見交通との関係がすごく険悪だそうで、総務文教委員会というよりも、市の担当課とバス会社及びタクシー会社との連携ということを体制づくりの文言中に入れていくべきだと思う。

敬老乗車券については、少し整理をするということだったので、これまで出た意見を追加し補強を行えばと思う。その他にないか。

○村武委員

敬老福祉乗車券のことで、副委員長から、相反することが書かれているとのことだった。遠く離れた地域に暮らす住民を思い必要に応じた増額ということと、最適な地域交通が確立された場合には制度の見直しも必要だということとは、相反する内容かもしれないが、どちらも大切なことなので、分けずにこのままでもいいのかと思った。

委員長が提案されているライドシェアのことについて、今回こうやって6番で入れてもらっているが、自家用自動車の使用ということもいい取組かもしれないが、個人的には本当にいい取組なのかについて調査研究しているわけではないので、私は具体的に自家用自動車を使ってということを載せるのがいいのかどうかと感じるが、ほかの委員の皆さんの意見も聞きたい。

○芦谷委員長

6番のライドシェアについては検討を進められたいとあるので、そこの場所に行ったことはないが私の思いとして、福祉関係、見守り、隣近所での自家用自動車利用について、検討の視点として調査研究という意味で、報道からの情報を含め、私の思いを書いている。

暫時、休憩する。

〔　10 時 29 分　休憩　〕
〔　10 時 45 分　再開　〕

○芦谷委員長

会議を再開する。

補足があればお願いする。

○沖田副委員長

皆からの意見を聞き、委員会からの一方通行の意見になっているところもあるので、市内全域の公共交通機関への配慮が欠けていることも見受けられたので、正副委員長でまとめ直し、皆へ素案を示したいと思うがいかがか。

（「異議なし」という声あり）

○芦谷委員長

皆からの意見、所管課の意見も聞き、それらを踏まえながら正副議長でまとめようと思うが、よろしいか。

（「異議なし」という声あり）

次に、議題としては挙げていないが、福祉環境委員長から総務文教委員会の所掌事務が少し多いとの指摘があった。このことについて、議会の運営に関わることなので議会全体のことであるが、本日はまず、皆の意向を確認してみたい。

〇村武委員

他委員会と比べ案件が多いことについてバランス感が悪いのは感じるが、これまでも議会運営委員会で協議してきて、このままでということだったと思う。

令和6年12月に福祉環境委員会と総務文教委員会の合同で浜田市保育連盟との意見交換会があり、そのときもすごく感じたが、保育の所管は福祉環境委員会。幼児教育は総務文教委員会。2つの委員会がまたがってやっているところに違和感がある。子ども全体のことを考えたときに、福祉の視点と教育の視点というものが出てくるので１つの委員会が所管するのがいいと感じている。

〇沖田副委員長

一委員の意見として、村武委員の意見にかなり賛同する。国でも幼保一元化という流れがあり、当市においても、総務文教、福祉環境それぞれの委員会へ連日担当課が来てということから一元化することが効率的であり、執行部への配慮も必要かと思うので所管替えに賛同する。

〇西田委員

常々、幼保の一元化、一つの所管でやるべきと思っている。

〇永見委員

一元化するほうがいいと思い、皆の意見に賛同する。

〇岡本委員

所掌事務が多いと言うのが皆の意見だが、自分はこんなものかなあと思っているので、異を唱えるわけではないが、我々だけで決めるのが良いのか整理ができていない。皆が違和感を感じているというのであれば同調する。

〇芦谷委員長

議会全体の合意はできていないので、あくまで総務文教委員会としての意見。所掌事務は多いが、議会全体として見直しの議論が出てくれば参加していけばよいが、今日のところは意見を聞くということで置き、今後議会全体の動きの中で対応していきたいと思うがいいか。

（　「異議なし」という声あり　）

ほかに何かあるか。

（　「なし」という声あり　）

以上で総務文教委員会を終了する。

〔　10 時 52 分　閉議　〕

浜田市議会委員会条例第65条の規定により、ここに委員会記録を作成する。

総務文教委員会委員長　　芦　谷　英　夫